

## 第 4 章

# 區別構想





## 東区のまちづくり

### まちづくりの方向性

- 香椎・千早では、交通結節機能の高さを生かした福岡市東部の拠点の形成を図ります。また、和白、箱崎では、日常生活に必要な商業機能などの諸機能の集積を生かした拠点の形成を図ります。
- アイランドシティでは、豊かな自然に恵まれ、環境に配慮した先進モデル都市づくりを進めるとともに、コンテナターミナルと一体となった国際物流拠点の形成を図ります。また、九州大学箱崎キャンパス跡地では、多様な都市機能やゆとりある空間、先端技術の導入などにより、快適で質の高いライフスタイルの創出を図ります。
- 市街化調整区域では、自然環境や農地等の保全に努めるとともに、地域コミュニティの維持・活性化に向けた定住化の促進、観光振興等による地域活性化などに取り組みます。
- 地域の実情に応じた生活交通の確保、公共交通や道路のバリアフリー化の推進など、すべての人にやさしい安全・安心な交通環境づくりなどに取り組みます。
- 志賀島、海の中道などの自然海岸や和白干潟、多々良川、立花山、三日月山などでは、豊かな自然環境を保全するとともに、市民が身近な自然に親しみ、ふれあい、憩える場として活用を図ります。
- 住宅地では、地域特性に応じたみどり豊かで良好な住環境や魅力的な景観づくりに取り組み、快適で心豊かに住み続けられる日常生活圏の形成を図ります。
- 多々良川などにおいて浸水対策を進めるとともに、山に近い丘陵地では土砂災害等に対する警戒避難体制の整備を進めるなど、安全・安心に暮らせるまちづくりに取り組みます。



アイランドシティ



志賀島・海の中道

## 将来像とまちづくりの視点

全体構想における「将来の都市構造」をもとに、区内の各地域の特性に応じて、拠点・ゾーン・軸に分類し、まちの将来像やまちづくりの主な視点などについて、以下のとおり整理します。

### <拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点	
東部広域拠点 (香椎・千早) 	香椎・千早を核として、交通結節機能の高さを生かし、商業・業務機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した福岡市東部の拠点	生活文化核 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 商業・業務機能などの誘導</li> <li>○ 商店街の活性化</li> <li>○ 歴史資源を生かしたまちづくり</li> <li>○ 交通結節機能の充実・強化</li> <li>○ アイランドシティとの連携</li> </ul>
		交流ゾーン 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 通りのまとまりが感じられる街並みの形成</li> <li>○ 歴史資源を生かしたまちづくり</li> <li>○ 商業・業務機能などの誘導</li> <li>○ 交通結節機能の充実・強化</li> <li>○ アイランドシティとの連携</li> </ul>
		活動核 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 商業・業務機能などの誘導</li> <li>○ 交通結節機能の充実・強化</li> <li>○ 通りのまとまりが感じられる街並みの形成</li> <li>○ アイランドシティとの連携</li> </ul>
地域拠点 	日常生活に必要な商業機能や市民サービス機能などの諸機能が集積した地域の拠点	(和白) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導</li> <li>○ 商店街の活性化</li> <li>○ 交通結節機能の充実・強化</li> </ul>	
		(箱崎) <ul style="list-style-type: none"> <li>○ 九州大学箱崎キャンパス跡地のまちづくりとの連携</li> <li>○ 歴史資源を生かしたまちづくりや回遊性の向上</li> <li>○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導</li> <li>○ 商店街の活性化</li> <li>○ 交通結節機能の充実・強化</li> </ul>	
魅力・活力創造拠点 	(アイランドシティ) 豊かな自然に恵まれ、環境に配慮した先進モデル都市及びコンテナターミナルと一体となった国際物流拠点	まちづくりエリア 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 海と緑を生かした快適な居住空間の形成</li> <li>○ 健康・医療・福祉分野などの新しい産業等、多様な都市機能の集積</li> <li>○ グリーンベルトを生かした複合的な交流空間の形成</li> <li>○ 環境に配慮した先進的な取組みの推進</li> <li>○ 地域の個性を生かした景観の形成</li> <li>○ 香椎・千早地区との連携</li> </ul>
		みなとづくりエリア 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 国際コンテナターミナルの充実・強化</li> <li>○ 臨海部物流拠点の形成</li> </ul>

### <拠点など>

拠点・ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点	
魅力・活力 創造拠点 	(九州大学箱崎キャンパス跡地) 多様な都市機能やゆとりある空間、先端技術の導入などにより、快適で質の高いライフスタイルを創出する拠点	九州大学 箱崎キャンパス 跡地等 	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ まち全体の一体感の創出</li> <li>○ 周辺地域との調和・連携・交流</li> <li>○ 持続的に発展するまちの形成</li> <li>○ 交通結節機能の充実・強化</li> <li>○ 歴史的資源と緑の活用</li> </ul>
生活商業地 	近隣住民が日用品の買い物をする店舗などが集積する賑わいのある便利なまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 日常生活に必要な商業機能などの誘導</li> <li>○ 商店街の活性化</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> </ul>	
都市軸 	福岡市の骨格となる重要な交通ネットワークを受け持つ道路の沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 沿道の有効利用</li> <li>○ 後背地などの周辺環境への配慮</li> <li>○ 交通ネットワークの充実・強化</li> <li>○ 連続性のある良好な街並みの形成</li> </ul>	
沿道軸 	幹線道路沿道に商業・業務・サービス施設や中高層住宅などが連続した沿道の市街地		

### <将来のまちづくりを検討するエリア>

ゾーン	まちの将来像	まちづくりの主な視点
拠点等周辺 ゾーン 	周辺環境と調和した計画的なまちづくりを誘導するまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 計画的な土地利用転換の誘導</li> <li>○ 地域拠点のまちづくりとの連携</li> <li>○ 隣接地区との接続強化</li> <li>○ 周辺環境との調和</li> </ul>

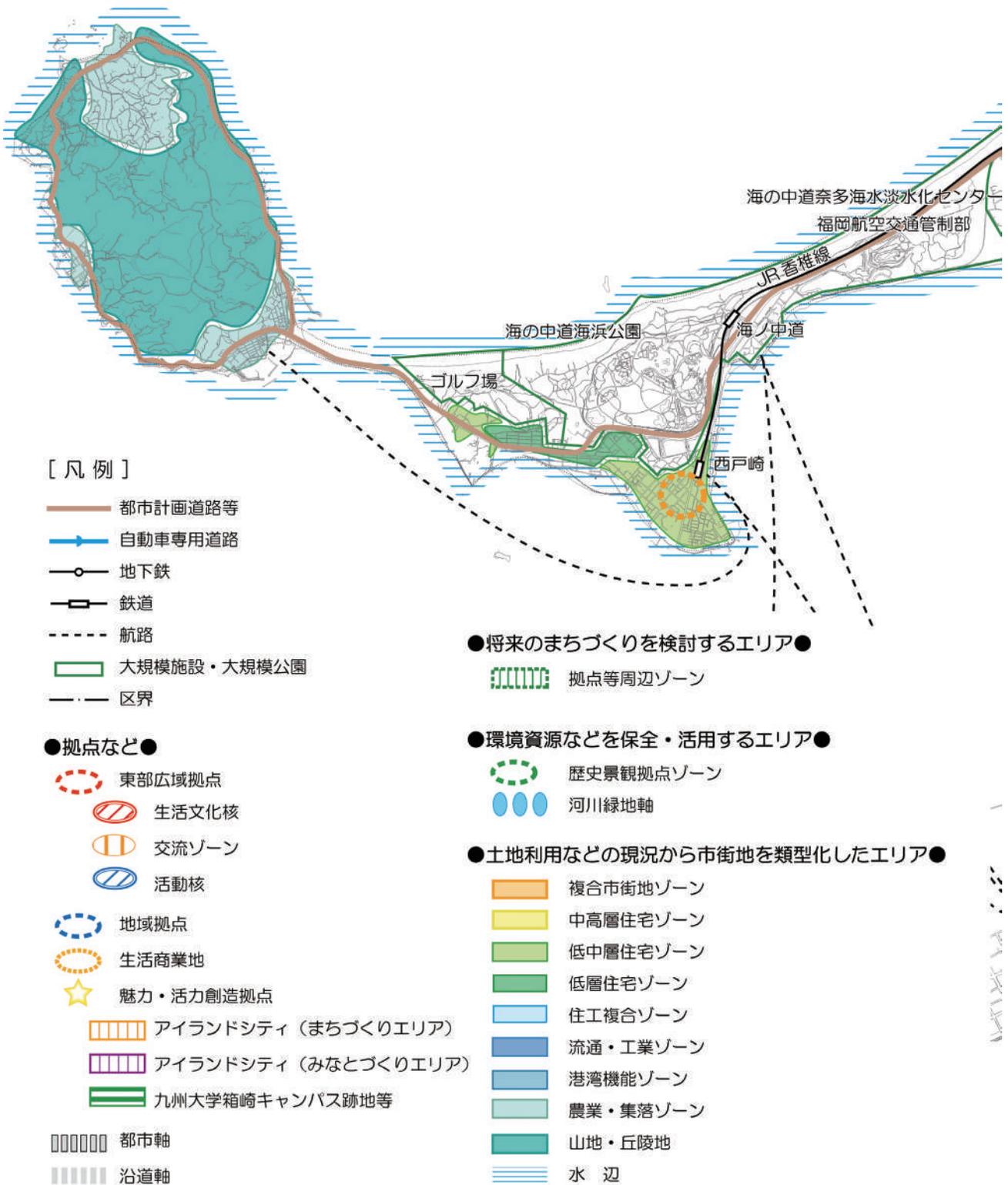
### <環境資源などを保全・活用するエリア>

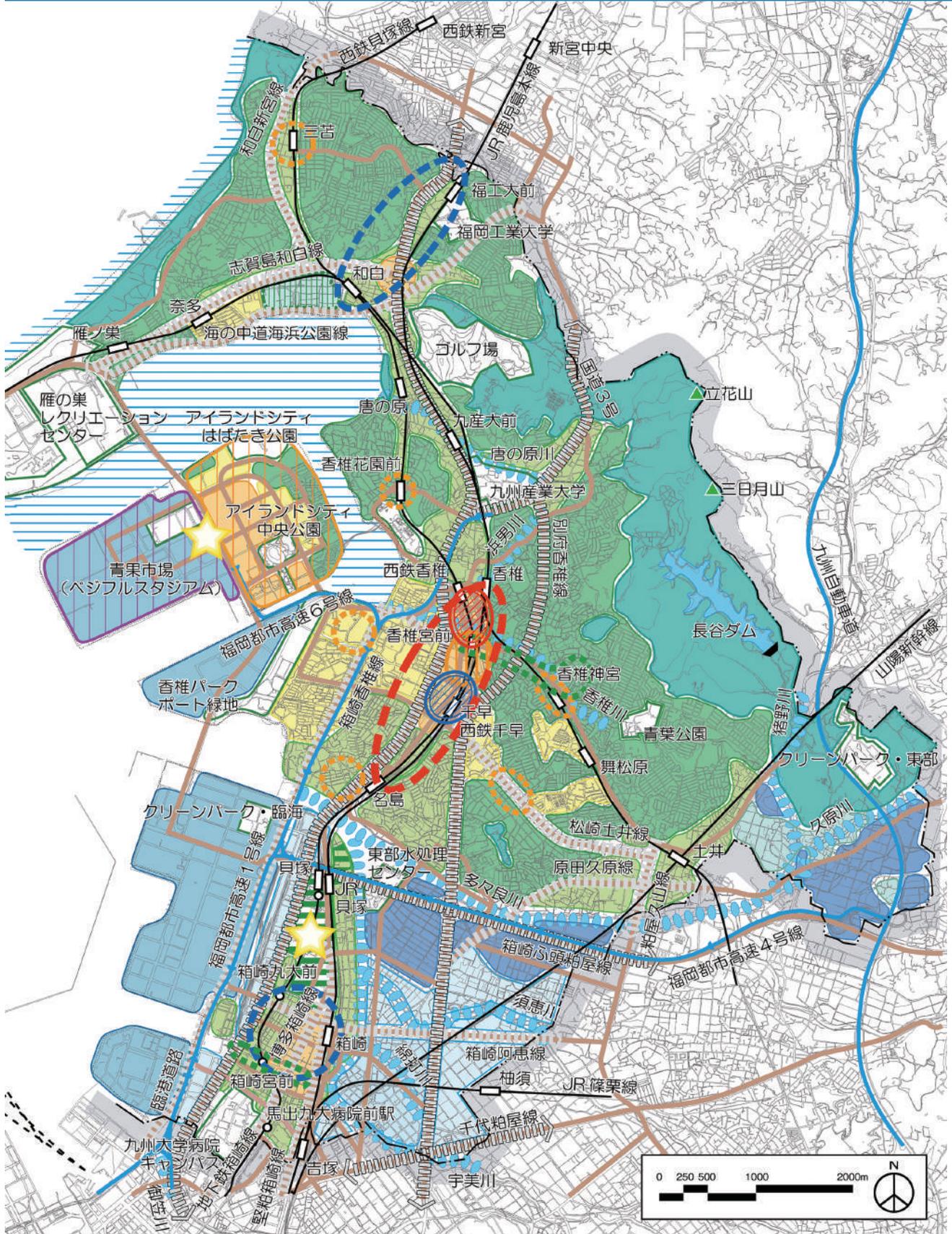
ゾーン・軸	まちの将来像	まちづくりの主な視点
歴史景観 拠点ゾーン 	神社仏閣や町家などの歴史資源を生かした景観が形成されている緑豊かな筥崎宮・香椎宮と参道及び周辺地区	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 歴史資源を生かした街並みの形成</li> <li>○ 緑の保全</li> <li>○ 緑豊かで魅力的な景観の形成</li> </ul>
みどりの輪・ みどりの帯 (森の緑地環・ 緑の腕)	都市の環境保全と福岡らしい風景を形成するとともに、市民の憩いの場となる森林、丘陵地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 三日月山・立花山などの豊かな自然の活用</li> <li>○ 生物多様性の保全・回復・創出</li> </ul>
河川緑地軸 	多々良川など、都市に美しい景観と身近な潤いを創出するとともに、市民の散策・憩いの場となる水辺空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 河川沿いの緑化など美しい都市景観の形成</li> <li>○ 親水性の向上</li> <li>○ 生物多様性の保全・回復・創出</li> <li>○ 安全で快適な都市基盤の整備</li> </ul>
博多湾水際帯	連続する緑地と水際空間を形成するとともに、市民の憩いの場となる自然海岸や干潟、海浜公園	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ みどりの連続性の確保</li> <li>○ 海の中道海浜公園の機能の充実・強化</li> <li>○ 海辺などを生かした観光振興と地域の活性化</li> <li>○ 生物多様性の保全・回復・創出</li> </ul>

※「みどりの輪・みどりの帯(森の緑地環・緑の腕)」、「博多湾水際帯」の位置・範囲は、第3章全体構想「みどりづくりの基本的な方針(みどりの将来像図)」参照。

**<土地利用などの現況から市街地を類型化したエリア>**

ゾーン	現況	まちづくりの主な視点
<b>複合市街地ゾーン</b> 	住宅を中心に商業施設・業務施設が立地する市街地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 良好な住環境の保全・形成</li> <li>○ 居住環境と調和した商業・業務機能の誘導</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> <li>○ 緑化の推進</li> </ul>
<b>中高層住宅ゾーン</b> 	大規模な住宅団地などの中層住宅や高層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 中高層住宅地としての良好な居住環境の形成</li> <li>○ 生活利便性の確保</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> <li>○ 緑化の推進</li> <li>○ 住宅の老朽化への対応</li> </ul>
<b>低中層住宅ゾーン</b> 	戸建住宅などの低層住宅が大部分を占めるが、一部中層住宅などが立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低中層住宅地としての良好な居住環境の形成</li> <li>○ 生活利便性の確保</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> <li>○ 緑化の推進</li> <li>○ 住宅の老朽化への対応</li> </ul>
<b>低層住宅ゾーン</b> 	主として戸建住宅などの低層住宅が立地する住宅地	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 低層住宅地としての良好な居住環境の形成</li> <li>○ 生活利便性の確保</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> <li>○ 緑化の推進</li> <li>○ 住宅の老朽化への対応</li> </ul>
<b>住工複合ゾーン</b> 	工場や倉庫、事務所などの工業系の施設と住宅が立地するまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 住宅の多い地区での良好な市街地環境の形成</li> <li>○ 生活利便性の確保</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> <li>○ 敷地内緑化などによる緩衝機能の確保</li> </ul>
<b>流通・工業ゾーン</b> 	工場や倉庫、事務所などの工業系の施設が集積するまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 流通・工業機能の維持・向上</li> <li>○ 住宅の無秩序な立地の抑制</li> <li>○ 車両の円滑な交通処理</li> </ul>
<b>港湾機能ゾーン</b> 	市民生活や地域経済を支える海上物流機能が集積するみなと	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 港湾機能の充実・強化</li> <li>○ カーボンニュートラルポートの形成</li> </ul>
<b>農業・集落ゾーン</b> 	市街化調整区域で農地が広がり、集落などが分布するまち	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 豊かな自然環境と農地の保全</li> <li>○ 既存集落の環境保全と定住化の促進</li> <li>○ 農林水産業などの地域産業振興</li> <li>○ 豊かな自然環境などを生かした地域の魅力向上</li> <li>○ 安全・安心な交通環境づくり</li> </ul>
<b>山地・丘陵地</b> 	三日月山・立花山などの豊かな自然環境を有する森林空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 森林などの保全・活用と管理活動の充実</li> <li>○ 無秩序な開発の抑制</li> </ul>
<b>水辺</b> 	自然海岸や干潟などの水辺空間	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 自然海岸、和白干潟の保全・活用</li> <li>○ 無秩序な開発の抑制</li> </ul>





1 都市計画マスタープランの位置づけと役割

2 都市の現状と都市づくりの課題

3 全体構想

4 区別構想(東区)

## 現況と課題

[凡 例]

	都市計画道路等（整備済・概成）		主な公園・緑地
	都市計画道路等（未整備・整備中）		主な公共施設
	自動車専用道路		大学
	地下鉄		文化財・寺社
	鉄道		農用地区域
	航路		標高80m以上
			市街化区域および市街化調整区域界
			区界



- JR鹿児島本線など複数の鉄道路線、都市高速道路や国道などの幹線道路が交通の大動脈を形成しており、箱崎ふ頭や香椎パークポート、アイランドシティなどの臨海部には、海上物流機能が集積し、近接するJR貨物ターミナルと一体となって、地域経済を支える物流拠点を形成しています。
- 雁の巣レクリエーションセンターや総合体育館、ラグビー強化拠点「JAPAN BASE」などのスポーツ関連施設も充実し、各種スポーツの拠点になっています。
- 美しい景観を有する海岸が広がる志賀島や海の中道、クスノキ原生林がある立花山や三日月山、渡り鳥の飛来地として有名な和白干潟など、豊かな自然に恵まれています。
- 近年、災害が激甚化・頻発化しており、海や川に面した地域や山に近い丘陵地など、災害リスクの高い地域もあり、災害に備えた訓練や環境整備などの対策が求められています。
- 金印が発見された志賀島や、全国でも数少ない勅祭社である香椎宮をはじめ筥崎宮や志賀海神社などの神社仏閣、唐津街道の宿場町であった箱崎・馬出地区の町家など、歴史や文化の足跡が数多く残っています。
- 7区で最大の人口を有し、東部広域拠点である香椎・千早や、地域拠点である和白、箱崎に都市機能が集積するとともに、東側の丘陵地には住宅街が広がっています。
- アイランドシティや九州大学箱崎キャンパス跡地で新たなまちづくりが進むなど、今後も人口増加が見込まれる中で、地域によっては人口が減少しており、それぞれの地域の実情に応じて、誰もが必要な行政サービスを利用でき、安心して生活できる環境づくりが必要です。

